

## 平成27年度「ゆめの木教室」卒業生

平成 28 年 3 月「ゆめの木教室」から 5 名の子どもたち（小学生 1 名、中学生 4 名）がそれぞれ小学校・中学校を卒業しました。

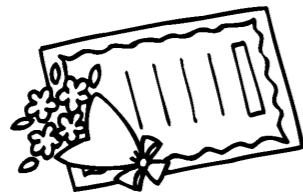
勉強をがんばって楽しい学校生活をおくりたい。  
3年Y



部活（バレー）と勉強を両立して楽しい学校生活をおくりたい。3年S

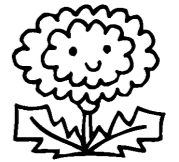
英語科の学校なので、英語をがんばって英語の先生になりたい。3年V

東保見小学校の 6 年生だった E くんは保見中学に入学しました。そして、中学 3 年生 4 名は全員が希望する高校に進学することができました。  
スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。子どもたちのために貴重なお時間を費やし、あたたかくきびしいご指導ご支援をありがとうございました。



# 子どものもりの国

## だより



2016 年 6 月発行 Vol.34



## 交流会

交流会後の保護者との話し合いでは、毎回保護者とスタッフとで子どもたちの学習について深い議論をしています。

- 日々の宿題は、教科書や解答から答えを探して課題を埋めるところで終わってしまっている。本当は、そこから理解して覚えることをしなければ本来の学習につながらない。
- ブラジルでも同じような問題がある。ただ丸暗記をして覚えても問題の形式が変わると答えることができない。答えを暗記する学習ではなく、自分で内容をまとめて、自分で理解し、自分の言葉で説明できるくらいにならないと本当に学習したことにはならない。
- 学校の学習のスタイルが、内容理解を重視するのではなく答えを暗記する、問題→答え、問題→答えという形になっている。学校のテストが全く同じ問題を繰り返しやるやり方なので、子どもたちは自分で考えて答えを出す学習の仕方ではなく、ただ丸暗記をするやり方に偏ってしまう。
- 朝は必ずニュースを見てきちんと理解できているか確認する。子どもは「分かった」と言うが詳しく何が分かったのか確認すると分かっていないことが多い。
- 読むことは書く力につながる。できるだけ多くの日本語に触れて、日本語の言い回しに慣れると書くこともできるようになってくる。何回もでてくる表現は自然と覚えることができ、たくさん読めばそれだけ書く力にもつながってくる。



- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」  
小中学生：月曜日～金曜日 午後 2 時～6 時
- 青少年の自立支援事業「そら」  
木曜日：午後 6 時 30 分～8 時 30 分

- 青少年の健全育成のための事業  
問題を抱えた子どもとその家族に対し  
随時相談・援助を行なう
- 交流会 年3回開催

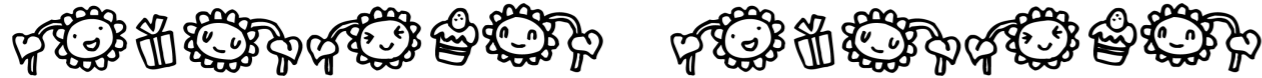


# ゆめの木教室

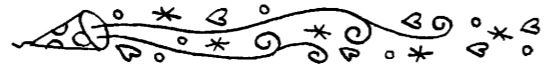


「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。

- 1年：真面目にできました。今日はひらがなの練習のプリントが多かったので、ゆめの木の書きの練習は一つ減らしました。数は認識できています。
- 1年：ひらがなの練習をめんどくさくなって、半分家でやりたいと言いましたが、学校の宿題は必ずゆめの木で終わりますときつく言いました。その代わりゆめの木の書きのドリルは一つ減らし、数図ブロックで数を認識させました。
- 2年：頑張って全部できました。時刻と時間の違いがよく分かっていませんでした。
- 2年：頑張って全部できました。模型の時計を使って時間を求めることができました。
- 2年：今日は途中で嫌になってしまって、宿題とゆめの木漢検の練習しかできませんでした。
- 3年：やる気をもってやれています。ドリルもよく進み習っていないところになるので、別のドリルを始めます。
- 3年：長さの計算で手助けが必要でした。
- 4年：何時も一生懸命頑張っています。
- 4年：粘り強く頑張って学習しています。まだ九九が覚えきれていないので計算に時間がかかります。
- 5年：宿題に時間がかかり、ゆめの木の課題は全部はできませんでした。日記は頑張って書いています。
- 6年：国語はスピードをもってこなすことができました。もう少し粘り強く取り組むと良くなります。
- 6年：落ち着いて取り組むとより上達できるのを感じました。
- 6年：たくさんあるゆめの木の課題もどんどんこなしています。



## 高校生になって



今まで中学生だった私にとって、高校は新たな生活のスタートです。まずは中学校と高校の違いについて書こうと思います。私の通っていた学校では、白い靴下、白い靴で登校するのがルールでした。高校では、暗い色の靴下と、黒色の皮の靴で登校することになります。中学では、髪の毛を結んで登校し携帯は家に置いていかなければなりません。高校にもよりますがほとんどの高校では髪の毛は染める以外なら好きにしています。携帯も学校へ持って行くことが禁止ではない学校もあると聞きました。中学と高校の雰囲気も当然ちがうと思います。小さなことかもしれませんが、服装もルールも違う日々は楽しみであって少し心配でもあります。

私が高校で頑張りたいことは勉強です。なぜなら、私はブラジル人ですが、ポルトガル語の学習言語は知りません。それに国語の苦手な私の日本語力は少し低いため、あまり難しいことは分かりません。今のままだと日本語もポルトガル語も中途半端な状況です。そのため、日本でもブラジルでも役に立たずやっていけないと思います。そう思った私は、そのようなことがないように今から3年間少なくとも日本語でしっかり学習します。日本語での教科学習を頑張り、大学に進学します。これから3年間一緒に過ごす仲間に「よろしく」と伝えたいです。

# そら

## 久しぶりに大集合



平成 28 年度の「そら」は、月に 1 回程度青少年が集まり、育児の話や学校の学習の話など様々な情報交換をしています。「そら」の青少年の子どもたちも随分大きくなりました。みんな育児+仕事をがんばっています。



みんなそれぞれの場所で頑張っています！



## 豊田市教育委員会表彰



平成 27 年度、豊田市西保見小学校の福田(前)校長先生よりご推薦いただき、豊田市教育委員会表彰を受賞しました。  
「あ・り・が・と・う・ご・ざ・い・ま・し・た。」



## 初めての大学見学

今日は人生で初めて大学を見学しに行きました。初めてというのはすごくワクワクするものなので、すでにワクワクはしていたのですが、将来英語の先生になりたい私にとっては必ず入りたい大学なので、そんな大学を見ることが嬉しくてたまりませんでした。門を通る時、私が思ったことはただ一つでした。「ここに絶対入る」です。校舎はキレイで古くてもそうは見えず、学生たちはありのままの自分でいられて自分の夢に向かうことができますよっという笑顔を見せていました。歩くと肌で感じられるかのような感じでした。私もあのように自分の夢に誇りをもって、あの大学に入りたいと思いました。もう一つ、すごいと思ったことは外国の本などが置かれている部屋があったことです。違う国の大学にはあまり見ない多文化を大切にしている日本人の一面をみられました。少しの間だけでしたが、こんなに感じるが多かったことがとても嬉しかったです。

